

な～ん知らんだ! 富山県東部の 縄文後期ワールド

東日本と西日本の
文化の交差点!?



え! こんな文様って
県東部しかないん?

令和6年(2024)

11月23日(祝) - 12月22日(日)

会場 / 滑川市立博物館3階

開館時間 / 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 / 毎週月曜日 主催 / 滑川市教育委員会、滑川市立博物館

記念講演会 参加無料 / 申込不要

11/30(土) 午後1時~ 渡邊裕之さん(新潟県文化課・学芸員)

演題「縄文時代後期後半における富山と新潟 一本江遺跡からみえる縄文土器の地域性一」

展示解説会 参加無料 / 申込不要

11/23(祝)、12/1(日)、12/14(土)、12/22(日) ※いずれも午前11時~、午後2時~(30分程度)

左: 滑川市本江遺跡出土注口土器, 中央: 同深鉢, 右: 同注口土器

入場
無料

な～ん知らんだ！ 富山県東部の 縄文後期ワールド

令和6年(2024)
11月23日(祝) - 12月22日(日)

滑川市唯一の富山県指定文化財「本江遺跡」は、縄文後期(縄文時代後期)という限られた時期に繁栄した集落が見つかった遺跡として知られています。

長く続いた温暖な気候に支えられて発展した縄文中期は、人口の増加と共に火焔型土器に代表される"ごてごて"とした迫力ある装飾土器を生み出しましたが、その時期が終わると、寒冷化と共に縄文後期が始まります。この頃は寒冷化に伴い食料の確保が難しくなり人口が減少していった時期と考えられており、縄文人たちは他地域の人々と交流することで生き残りを図っていったようです。

本江遺跡では、これら東日本と西日本の人々が交流したことで生まれた繊細な文様がついた土器が数多く含まれており、他では見られない珍しい文様をもつものも少なくありません。県指定50周年を記念して令和4年度に開催した特別展「再発見！本江遺跡」では、これらの魅力をお伝えしました。

そのなかで今回は、本江遺跡と同じく中・下新川地域にある縄文後期の遺跡を一堂に会する展覧会を開催します。東は朝日町から西は立山町まで、実は皆さんの身近にあるけどあまり知られていない縄文後期ワールドをご紹介します。



記念講演会 参加無料／申込不要

11/30(土) 午後1時～ 渡邊裕之さん(新潟県文化課・学芸員)

演題「縄文時代後期後半における富山と新潟
一本江遺跡からみえる縄文土器の地域性一」

展示解説会 参加無料／申込不要

11/23(祝)、12/1(日)、12/14(土)、12/22(日)

※いずれも午前11時～、午後2時～(30分程度)

申し込みフォーム



縄文クラブ 参加無料／要申込【申込締切12/7(土)】

12/21(土) 午後1時～5時

※本江遺跡の土器を整理する体験イベント

(作業中の泥はねが気になる方は汚れても良い服装やエプロン等をご持参ください)

【主要展示資料】

滑川市／上市町	本江遺跡／広野新遺跡出土遺物
朝日町	境A遺跡出土遺物
黒部市	愛本新遺跡出土遺物
魚津市	石垣遺跡出土遺物
立山町	金剛新遺跡出土遺物

【お問い合わせ先】

滑川市立博物館

〒936-0835 富山県滑川市開676
TEL 076-474-9200 FAX 076-474-9201
E-mail hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp

博物館HP



■コミュニティバス時刻表(大日・室山ルート)

滑川駅前	12:00	14:40	17:32
博物館前	12:19	14:59	17:51
開	12:40	15:20	18:12
滑川駅前	13:03	15:43	18:35



ミュージアムカフェ
10:00～15:00

焼き菓子の取り扱い
はじめました

■公共交通機関

あいの風とやま鉄道(滑川駅)、富山地方鉄道(滑川駅・中滑川駅)から
コミュニティバス(のるmy car:大日・室山ルート)で、「博物館前」下車すぐ、「開」下車徒歩3分。

■自動車

北陸自動車道・滑川インターチェンジから約3分。国道8号線・稲泉交差点から約7分。

